

氏名	M・G
専修	獣医学専修
学年	学部5年生
渡航先	台湾
期間	2019/8/18～2019/9/1
内容	<p>今回の実習では台湾大学の附属動物病院と屏東科技大学の野生動物保護施設に行った。そこで最も印象的だったのは、野生動物の扱われ方である。台大動物病院でエキゾチック動物科を見学した日、診療した動物の半分ほどは保護施設から送られてきた野鳥だった。屏東の野生動物保護施設では木を伐採したり虫を採取したりする実習があったが、いずれも保護している動物の小屋の環境をできるだけ自然の状態に近づけるという目的に基づくものだった。実習全体を通して、野生動物1頭1頭がとても丁寧に管理されていると感じた。それを可能にする大規模な施設や豊富な人員が存在するのは、人々の野生動物への関心の高さが表れているのだと考える。実際、「台湾でレジ袋が有料なのは、海棲生物が誤食するのを減らすためにプラスチックごみを減らす運動が行われた結果なのだ」と現地の学生が言っていた。普段東京で暮らしているだけでは気づきにくい野生動物保護について身近で学べたのは大きな収穫であった。</p>

